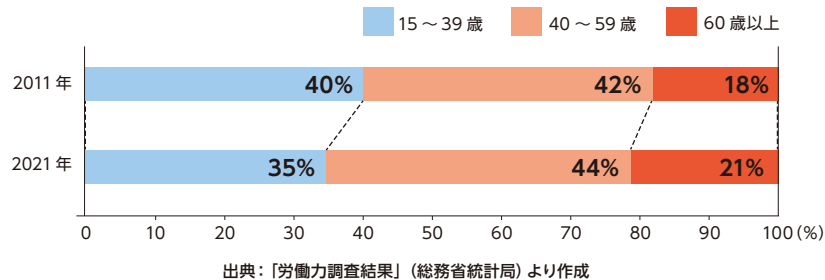
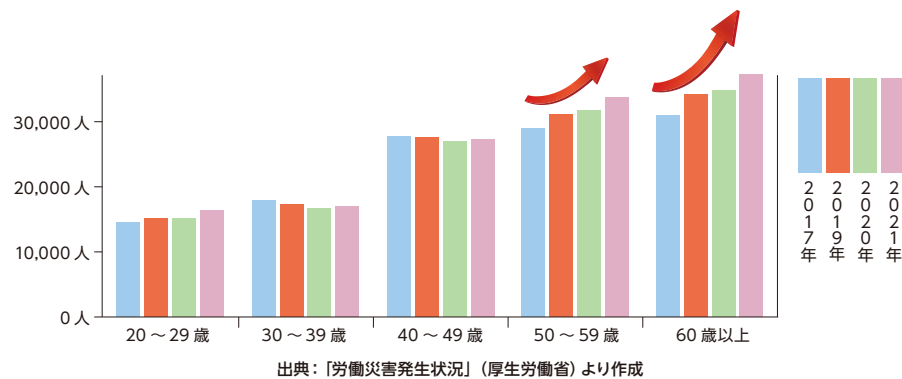


予防の重要性

労働者の高齢化と災害発生状況



我が国では10年間で15～39歳の労働者割合が5%減少し、40歳以上の労働者割合が全体の65%を占めています。



業務上災害の発生件数の推移では、様々な対策をしているにもかかわらず、50歳以上の労働者において年々増加している状況が報告されています。

人口の減少に加えて労働者の高齢化が進んでいる我が国においては労働力の確保や生産性の維持・向上が重要になっています。

3 生産性の指標

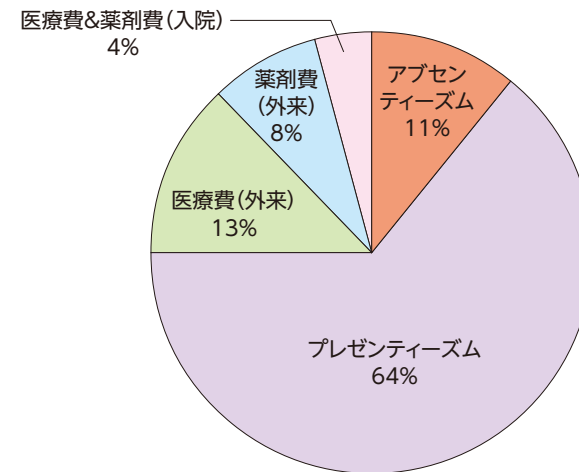
職場における健康と生産性の指標には、プレゼンティーズムとアブセンティーズムがあります。この二つは合わせて労働生産性の損失と捉えられており、『疾病の予備群』や『疾病を患った方』に対しても予防的な取り組みが必要です。

プレゼンティーズム

出勤はできているが、何らかの病気や症状を抱えながら働き、生産性が低下している状態。

アブセンティーズム

心身の不調により仕事を欠勤や休業している状態で、出勤自体ができていないため、生産性が低下している状態。



疾病によるコスト損失額の割合

出典：Nagata T et al. Total Health-Related Costs Due to Absenteeism, Presenteeism, and Medical and Pharmaceutical Expenses in Japanese Employers. J. Occup. Environ. Med. 2018

近年、企業のコスト損失額において、アブセンティーズムと比べてプレゼンティーズムが大きな割合を占めていることが着目されています。

労働力の確保や生産性を保つためにも、個人や組織が普段の仕事のなかで職業病の発生予防に取り組んでいく必要があります。